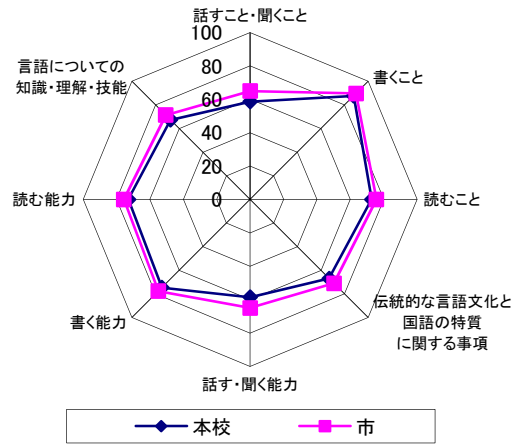


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	58.6	64.9	69.8
	書くこと	87.7	89.8	81.9
	読むこと	72.8	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.0	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	58.6	64.9	69.8
	書く能力	74.7	77.7	73.7
	読む能力	72.8	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	67.4	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	話し合いの内容を聞き取る問題では、本校の正答率は58.6%で市の正答率64.9%を下回った。話し手の意図や話し合いの内容を考えて聞くことや司会者の役割等について指導する必要がある。	話し合い活動の流れを確認し、相手の話の内容を十分に聞き取り、何を意図しているかを読み取ることができるようにする。初期は話の内容にその理由を含め発表させる等の工夫をする。司会者の役割はシート等にまとめ理解を図る。机上の空論に終わることなく、実際に話し合い活動を行う。内容は児童に共通することや関心をもてるものを設定し、話し合い中は必要に応じてコメントを入れたり軌道修正をしたりする。
書くこと	本校の正答率は87.7%で市の正答率89.8%を下回った。文章や段落の構成、字数制限等を課題として指導する必要がある。	作文指導において、まず、作文メモをもとに必要とする書く事柄を整理し、書く順番を考える。構成の工夫として、理由や根拠、具体例等を挙げ、自分の考えを明確に表現できるようにする。字数制限については、文章は基本として必要なことを落とさず、無駄なものは省く。普段からの積み重ねを必要とするので機会があるごとに実施し能力を高めていく。
読むこと	本校の正答率は72.8%で市の正答率75.6%を下回った。「物語の内容を読み取る」では、市の正答率を上回っているが、「説明文の内容を読み取る」と「2つの意見文を読みくらべる」では、市の平均正答率を下回っている。	物語文の学習について、登場人物の行動や会話文に注意し場面ごとの出来事確かめたり、また文中の様子を表す言葉を手掛かりにし、中心となる人物の様子や気持ちを読み取ったりする学習を展開する。説明文の指導においては、段落に通し番号を付けながらまとまりに分け、そのまとまりに小見出しをつけ段落の関係について図示しながら理解を図るよう指導の改善を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	本校の正答率は67%で市の正答率71%を下回った。5、6年配当漢字の読み書きが、十分ではなかったので指導する必要がある。	単元ごとの漢字テスト、宮っ子学カステップアップシート等を活用した学習を継続的に行う。さらに国語辞典や漢字辞典を使用することにより熟語を増やしていく。また日常においても機会があるごとに指導し漢字を正しく読んだり書いたりすることができるようになる。また、家庭学習において漢字の学習をするよう呼びかけていく。